

リーダー育成実践学 ガラス細工プロジェクト
令和6年度実施報告書

1. 受講者

5名 内訳 生命2名(2年継続、3年継続)、機械2名(2年新規、継続)、
応化1名(2年継続)

2. 実施期間:5月24日~2月10日 18回実施

3. 目標

- ・理化学ガラス製作の基本技術となる「バーナーワーク」を中心としたガラス加工技術の習得を目指す。
- ・ガラス素材の性質やガラス加工の特徴を生かした作品の考案、製作をし、夢大学/ものづくりアイデア展へ出展する。
- ・工学部基金寄付者への返礼品 水時計「夢時計」の制作。
- ・上記の活動の中で「ものづくり」の楽しさ大変さを体験させる。

4. 結果

・全体のプロジェクトとして工学部基金への寄付者への返礼品として、昨年度製作した水時計のアイデアをもとにした作品の考案、製作を行った。学生の技術に合わせ可能な限り製作に携わらせた。

主に2~3年目の学生を中心にガラスの製作作業を行い、その他、金属・木工加工、組み立て作業など全員で手分けして行った。

製品を作る事の難しさを体感し、製作や取り扱いについて気を遣うポイントなど知ることが出来たのではと思う。

・「夢大学/ものづくりアイデア展」への出展では、返礼品として製作した作品についての工程などを発表し、完成品の展示を行った。

・各自個人の目標では、新規学生は目標を達成できなかったが、基礎動作の習熟を図った。継続学生は、球を作ることを中心に技術練習を行い、その応用で、グラス、おちょこのような形状の製作、水時計をもとにアイデアを出しオリジナルの作品を製作する者もいた。基礎動作の習得ができ、応用力もそれなりに身についた。

・学生たちは技術的に思い通りに製作できないが多かったと思うがものづくりの楽しさ、難しさを実感したのではないかと思う

5. 次年度の展望

- ・全体のプロジェクトのアイデアや製作のさらなる発展を期待したい。
- ・工芸的な製作のほかにも理化学ガラス器具（二重管など）の製作などの難易度の高い技術にも挑戦を促し、などさらなる技術の修得を目指す。
- ・ガラス素材について・ガラス加工技術についての理解を深め製作に活かす。



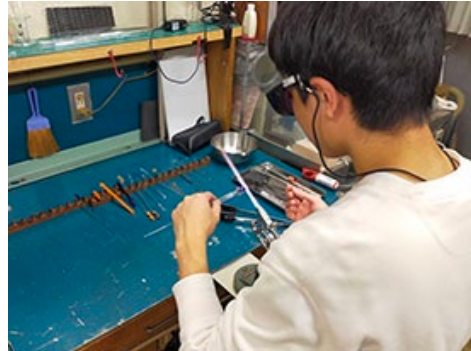
夢大学/ものづくりアイデア展の様子



夢大学/ものづくりアイデア展の様子



製作の様子



製作の様子



返礼品 水時計「夢時計」の製作の様子と作品